

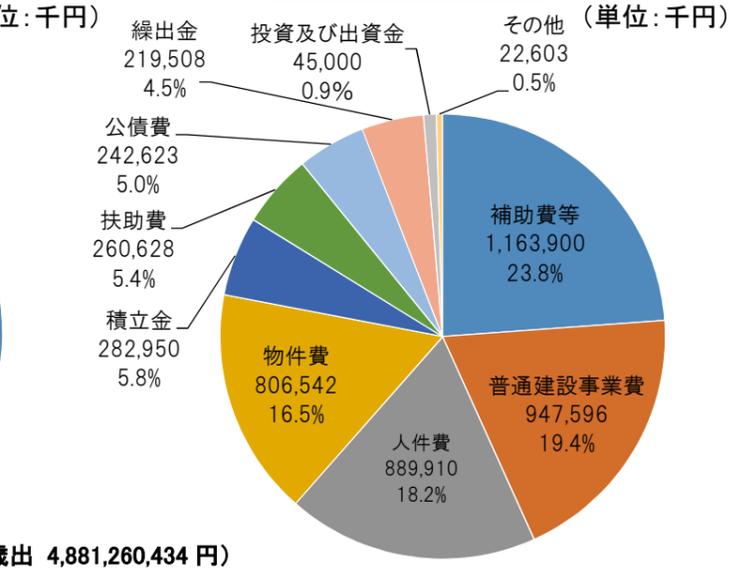
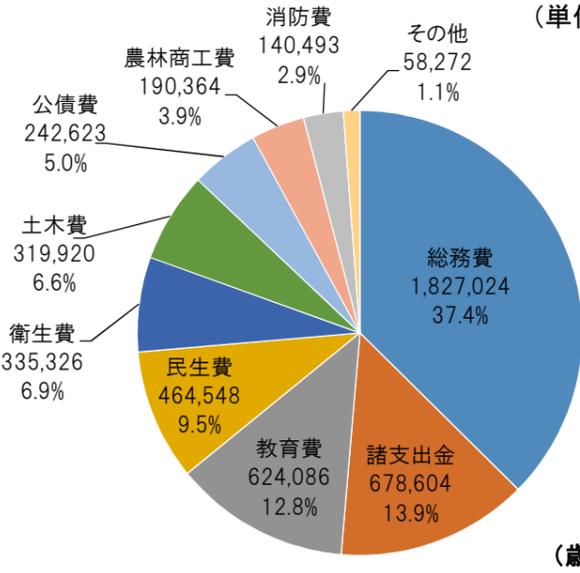
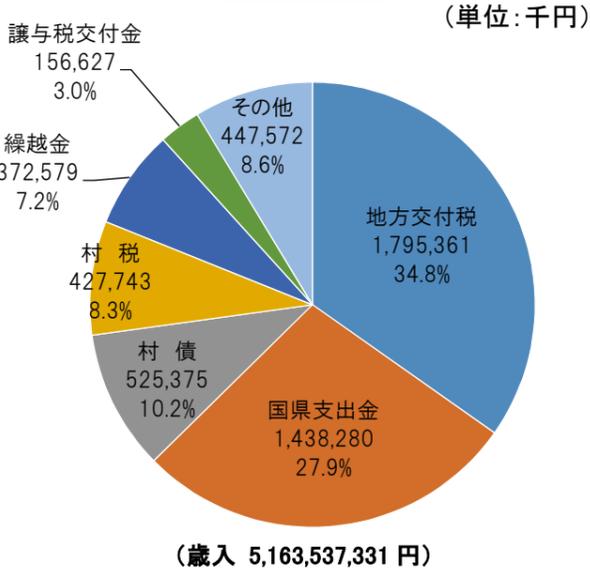
令和2年度決算の概要

明日香村の令和2年度一般会計決算は、歳入51億6,354万円、歳出48億8,126万円で、前年度と比べると歳入で12億2,324万円、31.0%増、歳出で13億1,354万円、36.8%の増となりました。また、一般会計と7特別会計、水道事業会計並びに下水道事業会計の10会計を合算すると、歳入73億4,761万円、歳出72億2,693万円となり、前年度と比べると歳入で11億9,764万円、19.5%増、歳出で12億7,966万円、21.5%増(新型コロナウイルス感染症対策関連経費7億2,868万円、新庁舎建設推進事業3億1,912万円増等)となりました。一般会計の歳入総額から歳出総額を差し引いた額のうち、次年度に繰り越す事業に必要な財源480万円を差し引いた実質収支額は2億7,748万円の黒字となりましたが、依然として地方交付税や国県支出金など依存財源にたよった決算となっています。

一般会計歳入

一般会計歳出(費目別)

一般会計歳出(性質別)



※諸支出金については、基金積立金、特別会計繰出金等

会計別歳入歳出決算

(単位:円)

会計区分	歳入	歳出	差引	
一般会計	5,163,537,331	4,881,260,434	282,276,897	
特別会計	整備基金	37,450,664	34,239,562	3,211,102
	高松塚壁画館受託事業	8,437,635	8,437,635	0
	国民健康保険(事業勘定)	794,694,792	794,866,991	△172,199
	“(診療施設勘定)	14,495,168	14,495,168	0
	後期高齢者医療	107,044,707	106,926,807	117,900
	介護保険(事業勘定)	630,780,374	627,267,145	3,513,229
	“(サービス事業勘定)	3,839,951	3,839,951	0
	飲料水供給施設事業	7,370,399	7,370,399	0
	公有地等住宅開発事業	11,659,692	11,659,692	0
	小計	1,615,773,382	1,609,103,350	6,670,032
水道事業会計	217,426,328	307,508,760	△90,082,432	
下水道事業会計	350,872,087	429,055,626	△78,183,539	
合計	7,347,609,128	7,226,928,170	120,680,958	

基金及び起債の状況

(単位:円、%)

区分	令和元年度末	令和2年度末	増減率	
基金	財政調整基金	402,797,071	653,117,939	62.1
	減債基金	164,404,854	165,133,888	0.4
	役場庁舎建設基金	858,660,211	607,885,802	△29.2
	文化財保存基金	85,672,720	85,741,258	0.1
	応援基金	58,410,933	69,459,415	18.9
	その他の基金	3,597,508,218	3,625,771,324	0.8
	合計	5,167,454,007	5,207,109,626	0.8
起債	一般会計	3,040,673,824	3,335,265,470	9.7
	特別会計	6,600,000	6,600,000	0
	水道事業会計	620,651,328	599,902,059	△3.3
	下水道事業会計	1,578,101,339	1,442,654,888	△8.6
	合計	5,246,026,491	5,384,422,417	2.6

(※出納整理期間を含む。)

※基金は、役場庁舎建設基金の約2.5億円の取崩しがあったが、財政調整基金を約2.5億円積立てたことにより全体としては約4千万円増加。起債は、新庁舎建設事業費の借入等により、全体の額が増加したものの、有利な財源である過疎債の借入が大半を占めている。

特色ある歴史的環境で次代を担う子どもが育つ村

生活環境及び産業基盤の整備

※ 99,520,000円 は新規事業

区分	内容	金額
子ども子育て支援事業の推進【住民課・健康づくり課・教育課】	・子育て世代包括支援センターでは、コロナ禍においても各関係機関と連携協力し母子の健康管理や虐待防止への対応を行った。また、子育て世代の孤立を防ぐために3密対策を行い子育て交流や教室の実施、アプリによる情報の配信等、子育て世代の包括的な支援の運用を実施。【H28～】アプリ会員数 221 名 ・子育て世代の経済的な負担の軽減について、不妊治療費助成【H28～】・妊産婦健診助成【H18～】・給食費負担軽減【H28～】・幼稚園保育料等軽減事業【H28～】や出産祝金、小・中学校への新入学児童・生徒へお祝金の支給【H29～】を継続し、子育て世代の経済的な負担の軽減を図った。また緊急事態宣言時には休園による特定事業従事者やひとり親家庭等への保育提供や休園の保育料の減免を実施。 ・引き続き放課後児童健全育成事業を空き教室を利用して実施し、保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生に対し適切な生活や遊びの場の提供。【H25～】放課後児童クラブ利用児童数 45 名	18,072,976円 81,568,915円 10,668,900円
幼小中学校経営事業【教育課】	・明日香の特色ある教育として、幼小中一貫教育、英語教育、郷土学習の一層の充実を図った。 ・いじめ、不登校、特別な支援を要する子どもたちに適切な指導やアドバイスを行うための臨床心理士や特別支援員の配置、少人数学級編成による一人ひとりへのきめ細かな指導を行い、学力の向上と自立した感性豊かな子どもたちの育成を図った。	44,233,750円
学校施設環境整備事業【教育課】	・小学校・中学校GIGAスクール構想に伴う、学校ICT環境整備工事、タブレット型端末の購入、学校施設の長寿命化を図るため中学校消火ポンプ設備更新工事及び小学校の老朽改修工事(屋上防水工事)を行った。【翌年度繰越額:33,700千円】	99,520,000円

万葉の地で元気にいきいきと暮らせる村

健康・福祉

区分	内容	金額
健康づくり事業【健康づくり課】	・県立医科大学と連携しコロナ禍の健診控えによる健康リスクの危険性を周知するとともに特定健診に特化したあすか健康プロジェクト事業【H24～】や健康ステーション事業【H29～】、糖尿病等治療助成事業【H30～】等を継続実施し、疾病や重症化の予防を図った。また、健康事業の参加者に健康ポイントを付与し多世代にわたる健康意識の向上を図った。(健康応援団の会員数 928 名)	18,724,519円
地域包括ケア体制構築事業【健康づくり課】	・コロナ禍の外出自粛によるフレイル対策として、あすか長生き体操やたちばな元気体操など身近な居場所やセンターで定期的に実施。また見守り配食や民生児童委員の訪問活動などを通じて見守りや安否確認の活動を実施。 ・買い物の支援体制について、庁内や社会福祉協議会と協議し公共交通機関を利用した実証実験を行い、担い手の確保や実施に向けての構築を図った。	57,220,993円
医療費助成事業【住民課】	・必要とする医療を容易に受けられるように、心身障害者医療費、子ども医療費及びひとり親等医療費等の自己負担分の一部を助成。	27,612,618円

古都にふさわしい安全・安心で生活しやすい村

安全・安心・生活環境・定住

区分	内容	
防災対策事業 【総務財政課】	・自然災害に備えて、備蓄品等の充実を図るとともに、土砂災害・河川氾濫の危険範囲や、避難場所、日頃からの備え等の情報を集約した防災リーフレットを作成。	6,054,000円
地域防犯推進事業 【総務財政課】	・地域の防犯力の向上を図るため、防犯カメラ及び防犯灯 LED 化に対する補助並びに防犯灯の修繕を実施。 (防犯灯 LED 化補助 7 大字 36 基、防犯カメラ補助 3 大字、防犯灯修繕 3 基)【H30～】	2,182,932円
定住促進事業 【総合政策課】	・空き家を有効活用し定住促進を図るため、空き家バンク制度により、登録物件を増加させることや所有者と利用者のマッチング、利用するために必要な改修などの経費に対する一部助成を実施。 ・空き家を有効活用し定住促進を図るため、空き家バンク制度に基づく支援を実施。【H21～】 (登録奨励金 8 件、仲介補助金 5 件、動産整理費用補助金 4 件、リフォーム工事補助金 2 件、不動産流動化対策補助金 3 件) ・子育て世帯の定住促進を図り、世代間のバランスがとれた人口構成の実現と活気ある村づくりを目指すため、住宅を新築された方に対し、助成を実施 7 件。【H28～】 ・市街化区域(阪合地区)において、住宅地形成を促進するためのアンケートによる意向調査を実施。・アンケート回収数 35 通	7,248,719円 7,000,000円 1,361,800円
クリーンセンター管理運営事業 【住民課】	・飛鳥地方における広域行政の連携を図り、可燃ごみの焼却処理を橿原市に委託し、生活環境の保全と安定したごみ処理を実施。 ・可燃ごみの焼却処理の広域化に伴い、資源ごみの再活用の特化した施設活用を図るため、焼却施設の解体工事を実施。	63,879,380円 131,230,000円
公共交通運行事業 【総合政策課】	・交通弱者の外出支援を行うため、乗合交通等の導入や福祉運賃の設定、バス路線の維持を実施。【H15～】また、村民のニーズや新たな拠点に対応した公共交通を実現するための現況把握調査を実施。【R2～】 ・金かめ乗合交通の運行 ・コミュニティタクシー運行 ・福祉運賃委託(周遊バスにおける高齢者・障がい者の外出支援) ・路線維持負担金(八木下市線、桜井飛鳥線)	37,849,097円
道路整備事業 【地域づくり課】	・道路改良工事(村道地ノ窪線等)を継続して実施、R2 年度で完了。【H17～R2】 舗装 A=1,520 m ² 、防護柵 L=137m、防風壁 L=20.9m等 用地買収 A=260.54 m ²	69,102,350円
下水道施設整備事業 【地域づくり課】	・生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設の整備を実施。 下水道管布設工事(細川) L=111.5m	12,590,000円
水道老朽管等更新事業 【地域づくり課】	・安全・安心な水を安定して供給するため、老朽管の更新工事を実施。 ・安定した給水を行うため、老朽化した加圧ポンプを更新(上居)。【翌年度繰越額:31,000千円】	23,785,300円 30,690,000円
道路維持事業 橋梁長寿命化事業 【地域づくり課】	・安全で円滑な走行環境を確保するため、経年劣化した舗装や転落防護柵等の修繕を実施。 舗装 A=2,223 m ² 、防護柵 L=154m ・橋梁の長寿命化を図るため定期点検並びに修繕が必要な橋梁について設計を実施。 橋梁定期点検 12 橋 長寿命化修繕設計 2 橋	24,975,500円 13,650,000円
新庁舎建設推進事業 【総合政策課】	・実施設計と施工を行う事業者を選定・契約を行い、基本設計の見直し作業を実施。新庁舎を立地させるため地区計画を作成。建設地の用地を取得。・デザインアンドビルド発注支援業務・実施設計の着手・建設用地の取得。	368,431,446円

古代史の舞台で交流を促し元気のある村

農業・林業・商工・観光・雇用

区分	内容	
担い手育成支援事業 【観光農林推進課】	・農業従事者の高齢化や担い手不足が進展するなか、持続的な営農活動が行えるよう、新規就農者や認定農業者等が行う生産活動の支援を実施。(農業次世代人材投資事業(新規就農者支援)2名【H22～】)	3,000,000円
有害獣対策事業 【観光農林推進課】	・猟友会及び捕獲専門員と連携し、個体数の減少に取り組むとともに、狩猟免許の取得・更新助成を行い人材確保に図った。【H23～】捕獲数 217 頭(イノシシ 114 頭、シカ 85 頭、アライグマ 18 頭) ・先端技術(ICT)を活用した有害獣の行動調査・生息調査を踏まえて、効率的な捕獲や集落の防御力を高めるための集落診断を実施し被害の軽減に努めた。	7,852,995円
里山田園景観創出事業 【観光農林推進課】	・荒廃した山林の林縁部において、広葉樹林化などの整備を実施し、良好な里山景観創出と獣害被害抑制を図った。 ・棚田オーナー制度など各種オーナー制度の推進を実施。	10,503,000円
観光振興事業 【観光農林推進課】	・明日香村の歴史・文化・自然などの地域資源を広く PR するとともに、幅広い年齢層の観光来訪者の受入環境の充実化を実施。 ・飛鳥ハーフマラソンを契機とした新たな誘客促進に向けた閑散期キャンペーンを開催し、観光産業の活性化を図った。	3,156,879円
観光基盤整備事業 【観光農林推進課】	・飛鳥観光協会と連携し、地域の観光資源を活かした着地型旅行商品の造成及び体験メニューの充実と情報発信を実施することで、周遊の促進と滞在時間の延長による観光消費の増加を図った。【R1～】 ・古民家等を活用した村内での新たな創業に対して支援を実施。【H27～】	11,417,000円
観光活性化事業 【観光農林推進課】	・明日香の価値(歴史・文化・自然等)を国内外に広く発信するため、総合パンフレット等の作成及び光の回廊等のプロモーション動画を作成し、村への来訪意欲醸成や明日香ファン創出を図った。	10,214,000円
飛鳥ハーフマラソン事業 【教育課】	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一年程度の延期となったが、代替イベントとしてオンラインマラソンの開催やゲストランナーによる特別講演会、子どもたちの走り方教室、マラソンコースの試走を行い飛鳥ハーフマラソンの魅力を広く発信し R3年度の大会開催へ向けた機運醸成と明日香村のPRを行った。	26,000,000円
地域おこし協力隊事業 【総合政策課】	・過疎地域の制度を活用し、明日香村に関心を持ち活動を行う地域外の人材の受け入れを実施。 (農業分野1名、観光分野1名)【H29～】	5,495,185円

世界遺産登録による歴史的風土を守り活かし新たな文化をつくり出す村

保存活用・文化継承・景観・里山・情報発信

区分	内容	
世界遺産登録推進事業 【総合政策課・文化財課】	・世界遺産登録推進協議会を中心として、専門家のアドバイスを受けながら推薦書素案を修正し、文化庁へ再提出。普及啓発事業として講演会を実施。【H18～】	2,831,500円
村民協働事業 【総合政策課】	・景観づくり協議会による景観形成活動に対する景観配慮意識向上への支援を実施。【H23～】 ・大字単位の景観・環境美化の維持・保全及び伝統行事の継承に対する支援を実施。【S55～】 ・住宅等の新增改築に伴う屋根、外壁及び石積みに対する支援を実施。【S55～】	365,500円 37,133,300円 42,827,300円
芸術文化事業 【文化財課】	・村内在住の美術作家を中心とした明日香の匠展の開催、公民館を中心に活動する各種団体・サークルの発表機会の提供、次代を担う子どもたちによる子ども芸術大会など、文化の香る村づくりと来訪者も含めた多世代にわたる交流を実施。	5,271,168円
飛鳥宮跡保存活用事業 【文化財課】	・飛鳥の中核遺跡である飛鳥宮跡の保存・活用に向け、県と連携をして史跡の追加指定と公有地化を促進すると共に、整備・活用の手法を検討した。【H25～】 史跡指定面積 36,537.28 m ²	55,810円
牽牛子塚古墳等整備事業 【文化財課】	・牽牛子塚古墳と越塚御門古墳の保存・活用に向け、歴史的風土にふさわしく飛鳥を体感できる施設とするための復元整備を実施。 史跡地整備(牽牛子塚古墳復元)【H29～R3】	67,067,504円
明日香法40周年記念事業 【総合政策課】	・明日香法制定から40年を経過し、改めて明日香法制定当時のあゆみを振り返るとともに、未来へと繋げることを目的とし、資料の収集・整理、関係者への取材等を行い、記念誌と資料集を編集。	3,630,000円